

糖尿病内分泌内科

■小見 理恵子 糖尿病内分泌内科部長

日本内科学会認定医，日本糖尿病学会専門医，
日本医師会認定産業医

■田中 麻美（健康管理センター医長兼務）

日本内科学会認定医，日本糖尿病学会専門医，
日本人間ドック学会認定医，
人間ドック健診情報管理指導士

■中川 佳子（総合内科兼務）

日本内科学会認定医，
日本内科学会認定総合内科専門医

■三澤 晴雄

（湘南藤沢徳洲会病院 内分泌・糖尿病科兼務）
日本内科学会認定医

■大岡 愛子（非常勤）

日本内科学会認定医，日本糖尿病学会専門医，
日本医師会認定産業医

■浜野 久美子（非常勤）

日本内科学会認定医，日本糖尿病学会専門医，
日本糖尿病学会研修指導医，
日本内分泌学会専門医，日本内分泌学会研修指導医，
日本抗加齢医学会専門医

■高橋 正典（非常勤）

日本内科学会認定医，日本糖尿病学会専門医，
日本循環器学会専門医，日本医師会認定産業医，
日本睡眠学会認定医，
日本医師会認定健康スポーツ医，
日本温泉気候物理医学会認定温泉療法医

2015年度 活動状況

展望

①標準的な糖尿病 内分泌代謝疾患に対する医療の
提供

- ・地域医療連携および院内各科よりのご紹介患者を
含め教育入院7泊8日を引き続き実施。病棟では

フットアセスメントを入院患者全員に運用し，す
みやかなケア，処置の実施，専門科受診などにつ
なげる役割を果たす。

- ・糖尿病療養指導士（CDEJ）手塚奈央子による療
養指導看護師外来。外来インスリン・GLP1製剤
導入，心理面を含めた療養指導，さらにフットケ
ア外来などを行い，質の高い糖尿病診療を継続。

- ・療養指導連絡会議を定期的に開催し，糖尿病治療
に携わる各職種（医師，薬剤師，看護師，管理栄
養士，理学療法士，検査技師，CRC）の連携を強
化，教育入院や外来教室の見直しを行う。

- ・CDEJとして看護師 手塚奈央子，松井美奈，薬
剤師 斉藤佳苗，桃井歩，CRC 鈴木章子，管理
栄養士 岩井菜穂子，須釜典子，検査技師 伏見
佳菜子，理学療法士 根本敬，野口貴子が活躍。

2015年度はCDEJ認定試験に理学療法士 中出
裕一，杉山和寛が合格，チーム医療として専門性
を発揮。

- ・月1回土曜日の外来糖尿病教室を引き続き実施。
週末を利用した短期の教育入院としても対応。
- ・病診連携（DM2 システム）については引き続き
推進の方向で，教育入院終了された方や治療安定
された方については積極的に地域への逆紹介を行
う。また，逆紹介後1年目に病診連携室を通じて
フォローアップ案内状を郵送し，希望者にDM2外
来枠においてフォローアップを行う。今後も地域
医療連携は推進していく予定である。
- ・他科入院患者の血糖管理についても入院患者のア
ウトカム（転帰，入院日数など）に寄与すべく対
応。

②先進的医療への取り組み

- ・CGMS（持続血糖モニター）は症例数を重ね妊娠
糖尿病や不安定糖尿病やインスリン療法の見直し
に有用性を発揮。

- ・血糖変動の大きい1型糖尿病患者などには、積極的にCSII（持続皮下インスリン注入療法）、SAP療法の導入を行う。

③臨床研究

厚生労働省主管の糖尿病血管合併症予防のための戦略的プロジェクト研究実施施設J-DOIT3に参加、2006年7月より研究開始、2015年3月に9年目をむかえ順調に推移、研究計画の変更による期間延長に伴い、参加登録者に同意をいただき継続観察中である。

日本人のインスリンを使用している2型糖尿病患者を対象としてリナグリプチンの効果を検討する目的の研究 TRUST2 studyに参加開始。

日本人2型糖尿病患者へのルセオグリフロジン水和物投与時における体重変動とその要因の検討する研究 LIGHT study に参加開始。

臨床治験については積極的に行い、糖尿病領域における新薬（糖尿病性末梢神経障害、糖尿病腎症に対する薬剤など）の使用経験を通じて新しい糖尿病治療に関する研鑽を深めた。

診療実績

年間診療実績

外 来	10,686件
入 院	53件
糖尿病療養指導	1,336件 (初回221名)
外来自己注射導入 (インスリン・GLP-1関連薬)	49件
外来糖尿病教室	47名
電話相談	23件

学術業績

(1) 学会発表

1. 手塚奈央子：世界糖尿病デー活動での血糖測定956名から得られた結果－血糖認知活動の重要性。第58回日本糖尿病学会，山口，2015，5.
2. 岩井菜穂子：妊娠糖尿病患者の経過と栄養指導の効果と課題。第58回日本糖尿病学会，山口，2015，5.

(2) 講演・シンポジウム

1. 手塚奈央子：糖尿病治療を考える会，発表，2015，6.
2. 小見理恵子：Diabetes Forum in in湘南，座長，2015，12.

その他

世界糖尿病デーイベント 2015年11月15日

2006年12月、国連により11月14日を「世界糖尿病デー」と策定され、初の国内活動が2007年11月14日、鎌倉地域の寺社（鎌倉大仏、大船観音、鶴岡八幡、長谷寺）をシンボルカラーのブルーにライトアップするイベントをとり行った。当科においては9年目にあたる2015年もひきつづき活動を展開。長谷寺においては当院スタッフによる医療相談、血糖・HbA1c測定などを行い、参加者は700名以上にのぼる大盛況であった。